艦隊を追って（1936）

FOLLOW THE FLEET

メディア 映画
ジャンル ミュージカル
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 110分
初公開日 1936/07
公開情報 劇場公開

【解説】

水兵役と言うと後のＧ・ケリーのおハコだが、アステアのセーラー姿も粋である（“やせ”が着ても様になる“軍服”ですね）。アーヴィング・バーリン・メロディが流れ、筋立てもいつものア・ボーイ・ミーツ・ア・ガールよりよっぽど凝っている本作、思わず膝を乗り出して観てしまうこと疑いない、ミュージカルの傑作。パートナーの踊り子のロジャースとケンカ別れしてコンビ解消の後、海軍に入隊した主人公のアステアが、結局、彼女とよりを戻すまでを、同僚のＲ・スコットのロマンスを絡めて、かなりドラマチックに描く。主演二人の踊りだけでなく、水兵たちの群舞もフィナーレにあって、ヴォリューム感たっぷり。監督サンドリッチは製作のバーマンとのコンビで’３４～’３８年にかけて５本のアステア＝ロジャース作品を手がけ、そのいずれもがトップ・レベル。４０年代前半をパラマウントで過ごしたが（この間の日本公開作は当然少ない）、’４５年に早逝した。戦後にもう一華咲かせて欲しかった才人である。

【クレジット】

監督	マーク・サンドリッチ	Mark Sandrich
製作	パンドロ・Ｓ・バーマン	Pandro S. Berman
撮影	デヴィッド・エイベル	David Abel
作詞	アーヴィング・バーリン	Irving Berlin
作曲	アーヴィング・バーリン	Irving Berlin
音楽	マックス・スタイナー	Max Steiner
出演	フレッド・アステア	Fred Astaire
	ジンジャー・ロジャース	Ginger Rogers
	ランドルフ・スコット	Randolph Scott
	ルシル・ボール	Lucille Ball
	ベティ・グレイブル	Betty Grable

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.